

NPO 法人 やまぼうし自然学校

ニュースレター

2012年度 冬号

震災から二年。被災地の日も早い復興を祈りながら、一緒に、これからの生き方、暮らし方を見つめていきましょう。



外の世界へ (森でもりもり遊び隊 イグルーづくり)

代表理事よりご挨拶**



加々美貴代（がみちゃん）

寒かった冬も終わりを告げようとしている。先日、オツネトンボというトンボの存在を初めて知った。トンボ=夏から秋のイメージを勝手に持っていたので、この時期にトンボを見かけて驚いた。

漢字で「越冬蜻蛉」と書いて「オツネトンボ」と読むそのトンボは、成虫で越冬するそうだ。細くて弱そうに見えるそのトンボの何処に、冬を越す力があるのかしばし見つめてしまった。生態系の底辺を支える昆虫たち。自然の厳しさの中で長きに渡り種を保ってきた。急速な環境変化で失われつつある自然界の様々な生き物たち。私たちは後世に引き継いでいく使命がある。黄砂とPM2.5で霞んだ空を見ながら思った。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



瑞慶覧 明子（すけちゃん）

「仲間の夢に付き合うのも、いいもんだよ。」志生塾の卒業式にいただいた素敵な言葉。卒業がスタートという覚悟とともに、この言葉がすーっと胸に浸み込みました。「日本の2045年構想」という議論は、自身の『自然学校という生き方』にたどりついた。さあ、これからがはじまり。



吉岡 明美（けみちゃん）

やまぼうし・お昼ご飯大作戦！イベントやいただきものの、ちょっとした残りもの、冷蔵庫の奥や事務所の片隅に置き忘れられた食材たち・・・これらをおいしく料理して、みんなで食べよう！ということになった。おいしい食卓があるところに、素敵な仲間あり。



保母 裕美（ほぼちゃん）

スキー3点セットを新調して、10年ぶりにスキー場へ。まずはブーツがこんなに重く固いものだったか・・・リフトを降りてボーゲンの次女につきあい、足がいたたたた～。直滑降の4才坊主にはついて行けません！怪我しないように練習したいです。



長谷川 功（はせじい）

震災から早くも2年。デフレ脱却や円高抑制、経済効果のみに振り回され、日本丸はどこへ向かって進路をとるのでしょうか？ちょっと心配も。菅平高原も4月は春です。今年新人3名が加わりました。将来設計ができる賃金体制にするべく皆様のご協力をお願いします。はせじいも頑張っています。



古川 誠（じゃが）

やまぼうし自然学校にやってきてはや3か月。雪かき、スノーシュー、イグルーづくりに雪合戦と雪まみれになった毎日。ちょっとずつ雪が溶けてきて少しさみしい気持ちもあるけれど、今年は、春がやってくるのが今までの春よりもうれしく感じる。あたたかいってすばらしい。芽吹きって素敵だ。動いて動いて動いて行こう！



佐藤 美央（みろりん）

みんなそれぞれ心にコップを持っている。大きいものや長いもの、透明だったり水玉模様だったり。そこに注がれるのは周りの人・物・自然からもらう優しさや厳しさ、愛。愛のお水がいっぱいになったら、今度はまわりにあるコップに注いでゆく番。たくさんのお水のやりとりができるといいな。



石川 順子（じゅんこさん）

啓蟄。東久留米・黒目川上流の下見調査へ。さいかち窪雑木林、＜保存樹＞多数の屋敷林・・・いるいる！シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、コゲラ、オナガ、野生化したワカケホンセイインコ。そして天神社境内ではアオゲラ発見。安西氏のお話を聴く機会が増えて、かすかな鳥の気配に敏感になったこの頃。



仲川 好乃（よっちゃん）

故小松崎昌美さんが「夢を現実に 理想を仕事に」と言いながら仕事をしていた姿を思い出します。今年で7回忌、早いですね。インプリの方々の手助けで成り立っているやまぼうしです。手を出し口を出して支えてください。

12・1・2月の実施事業

■事務局

上高地ネイチャーガイド協議会（12月3日、2月26日）、長野県森林審議会（12月13日）、リスクマネジメント講習会（12月6日、2月9日）、CONE指導者委員会（12月7日、1月25日）、理事会（12月9日）、長野校評価会、交流会（12月16日、17日）、長野県環境基本計画策定委員会（12月20日）、首都圏評価会、交流会（12月21日、22日）、上高地評価会（1月12日）、志生塾（1月21日、2月27日）、CONEトレーナー認定会（2月3日、4日）、上高地事務局会議（2月4日）、やまぼうし自然学校定例総会（2月11日）、リラクオーレマルシェ出店（2月17日）

■体験学習

啓明学園初等学校（12月5日、1月28日、2月26日～28日）、児童スキー研究会（12月28日）、桐光学園中等部（1月10日）、桐光学園高等部（1月10日）、桐蔭学園（1月11日）、久喜市立菅蒲中（1月11日）、小平市立小平第六中（1月15日）、白岡町立南中（1月16日）、東大和市立第一中特別支援学級（1月16日）、白岡町立菁莪中（1月17日）、墨田区立賢川中（1月17日）、杉戸町立東中（1月21日）、柏市立富勢中（1月29日）、三郷市立北中（1月29日）、墨田中（1月30日、31日）、二松学舎大付属高（1月31日）、野田市立川間中（2月4日）、上尾市立上尾東中（2月6日）、国立音大附属小（2月7日）、墨田区立錦糸中（2月7日）、淑徳小（2月11日、12日）、行田市立小学校（2月18日～21日）、ノンスキークラフト（1月10日、15日、17日、21日、23日、25日、28日、29日、2月5日、8日）

■森でモリモリ遊び隊／フォレストキッズ

クリスマス（12月2日 遊び隊）、雪遊び（1月20日 遊び隊）、雪遊び（2月17日 遊び隊）、雪遊び（2月23日 フォレストキッズ）、遊び隊まつり（10月6日 遊び隊）、智光山公園（10月27日 フォレストキッズ）、秋の森遊び（11月11日 遊び隊）、クマさん農場（11月24日 フォレストキッズ）

■イベント

組木絵づくり（12月9日 長野）、しめ飾りづくり（12月23日 長野）、冬のいつでもガイド（12月30日、1月4日、6日、7日、2月1日、2月4日、10日、16日、23日、24日 長野）、彩湖自然観察会（1月26日 東京）、牧場スノーシュートレッキング（2月24日 長野）

■委託

黒川青少年野外活動センターネイチャーボランティア（12月2日、1月14日 東京）、川崎市麻生区シニア市民講座（12月11日 東京）、長野大学特別講義（12月5日 長野）、上田市観光戦略会議（12月17日）、神奈川シニア自然大学（12月18日、19日、1月8日、9日、22日、23日、2月5日、6日、19日、20日 東京）、霧ヶ峰研究会（1月22日 長野）、スノーシューイベント（1月26日、27日 長野）、学習旅行誘致推進協議会千葉キャラバン（12月11日 長野）、スノーキャンプin信州（12月26日～29日、1月4日～7日 長野）、筑波大学菅平実験センター（1月15日、18日、19日、2月26日、27日 長野）、小諸ミズオオバコ保全会議（1月20日 長野）、杉並区スキー大会旗門スタッフ（1月20日）、中部森林管理局技術交流会（1月30日、31日 長野）、長野県緑の基金活動報告（2月2日 長野）、にしおか保育園（2月5日 長野）、筑波大学被災地復興支援プロジェクト（2月3日 長野）、やまがた森づくりサポーター育成研修会（2月15日、16日 長野）、クリヤマスリースクール（2月15日～17日 長野）、川西公民館スノーシューイベント（2月16日 長野）、JON20周年シンポジウム（2月20日 東京）、アウトドアcafe（2月23日 東京）

これな～んだ！

目をきょろきょろさせていると、“おっ”と思う表情に出会います。そんな時は、シャッターチャンス！今回は、食べ物シリーズです。



A



B



C



D

イベント情報（主催）

やまぼうし自然学校の会員の方は・・・

- ◆長野本校イベント 参加費 10%割引
- ◆首都圏イベント 参加費 10%割引！さらに、3回参加で次回50%割引

♪ やまぼうしウインターキャンプ ♪

積む、滑る、固める、掘る、投げる・・・アイディアが形になるおもしろさがいっぱいの雪をキャンプ仲間と一緒に作り上げる雪遊び三昧の3泊4日。ソリ滑り、雪の王国づくり、雪の森探検、雪原ティータイム、お土産クラフトづくりなどなど。

日程 3月30日（土）～4月2日（火）
 宿泊 菅平高原内の宿泊施設
 集合・解散場所 菅平高原または池袋駅
 募集 30名
 対象 小学1年生～6年生、中学生
 参加費 30,000円（食事、宿泊、指導、資料、保険込）
 ※池袋からご参加の方は、別途交通費3,000円程度が必要です
 申込締切 3月22日（金）

長野本校



♪ 堂平山登山観察会＜中級登山＞ ♪

比企三山に数えられ、一等三角点のある外秩父の名峰【堂平山】をたずねる。
 新緑の山頂では、360度の大展望が待っています。
 標高差約550m、全行程約7Kmの中級コースです。

日時 5月11日（土） 8:30-16:00（予定）
 集合 東武東上線/小川町駅
 参加費 3500円
 定員 15名（先着順）

東京支部

♪ 黒目川上流・さいかち窪自然観察会 ♪

昨年5月の落合川南沢湧水群に続く＜東久留米再発見＞シリーズ第二弾。
 黒目川源流といわれる痕跡を残す小平霊園内の「さいかち窪」や
 黒目川上流の保存林、屋敷林を訪ねます。

日時 5月25日（土） 9:30-14:30（予定）
 集合 西武新宿線/小平駅
 参加費 未定
 定員 25名

東京支部

♪ 春の森遊びと焚き火料理 ♪

春の風に吹かれながら、五感をフルに使って春の森を感じるデイキャンプ

日時 4月27日（土）10時～15時
 場所 自然体験の森（菅平高原）
 対象 親子
 参加費 大人 1,800円 小中学生 1,000円 幼児無料

長野校

イベント情報（協力）

♪ 須坂の街で宝探し ♪

三浦市&須坂市 姉妹都市文化交流まちづくりプロジェクト
 音楽で、街や人、自然とつながり、元気になろう！

日にち 3月31日（日）10:00～16:00
 場所 須坂市 旧上高井郡役所
 参加費 無料（一部有料）
 申込 不要（出入り自由！）
 主催 つなげよう とどけようコンサート実行委員会

- ・小さなお子様大歓迎！おもちゃ箱コンサート
- ・三浦市と須坂市のミュージカルによる競演？！
- ・森のクラフトづくり
- ・「森のめぐみ」のお話し

♪ 第5回別所線と走ろう、歩こう！！ラン&ウォーク ♪

「古き良き昭和に思いを馳せ、別所線に沿ってのどかな田園の風を感じながら」
 ランニング&ウォーキング
 「日本一、楽しく&ゆるい ラン&ウォークイベント」

日時 5月25日（土）別所線の日 午前9時半～午後4時
 集合 イトーヨーカ堂上田駅前イベント広場（アリオ上田）
 スタート JR上田駅温泉口
 募集 600名
 対象 健康な男女
 参加費 大人¥3,700 小学生 ¥2,100 中高生 ¥2,600 お申込み
 申込締切 5月15日（インターネットの場合は、2週間前）
 主催 「別所線と走ろう」実行委員会 共催：別所線の将来を考える会、うえだミックススポーツ

お問い合わせ先 TEL：03-3465-2888 / email：besshosen@sports-fitness.co.jp



やまぼうし、展望

2013 年も 3 ヶ月が過ぎようとしている。2008 年に組織を一新して 5 年が過ぎた。スタッフや役員の入れ替えもあった。時には赤字収支もあった。しかし、全てがプラスに動いている、そんな印象の 5 年間。これからもそうあり続けたいと思いを新たにしている。

これからのやまぼうし自然学校、会員は勿論、地域の皆さんと歩んでいきたい。ミッション（使命）は「森とつながり、森とともに生きることのできる人を育てる」としている。このミッションは私たちだけでは到底達成できるものではない。そのためにも皆さんの力をお借りして、皆さんと達成したいと考えている。

改めて「己を知る」可能性や良さを再認識し、弱点や汚点は改善する作業を行い、丁寧な仕事をする事でご協力頂いた皆さんにはお返していきたい。そこに込められている「持ち寄りの気持ち」（もの・時間・思い）を大切にしながら。

今期の事業計画の重点項目

1、「つながりをかたちに」

- 菅平地域の魅力アップへの貢献
 - ・地域活動への協力と発信（情報・ひと・笑顔）
- 上田市域とのつながり作りと強化
 - ・ネットワークをいかした協働活動
- 企業とのつながり作り
 - ・企業 CSR 活動、社員向け福利厚生活動の協力

2、「チャレンジ」

- 長野校主催イベントに新たな風を
 - ・定番イベントの精査と魅力アップ
 - ・会員との協働による地域の魅力発信イベントの開催
- 全事業の強化
 - ・新人スタッフの育成と全スタッフのスキルアップ
 - ・会員とスタッフの更なる連携強化と人材活用
 - ・上田市域の自然体験活動に関する情報・ひと・アイデアの発信基地として
- スキルアップ
 - ・集客、フィールド活用、人材育成、地域貢献の先進地域・団体への研修
 - ・他団体主催の講座や研修会への積極的な参加

3、「首都圏事業のさらなる推進」

- ・主催イベント新企画、ネットワークを活かしてコラボ企画の推進

会議などで各地に赴くことが増え、やまぼうし自然学校の魅力を再認識することが多い。地域に誇れる「場所＝コミュニティ」を目指して、スタッフ一同頑張ります。



加々美 貴代

キャンプアシスタントのススメ

やまぼうし職員となって 10 年目に差し掛かる年末、人生はじめてのキャンプアシスタントを体験した。小学生 9 人（男 4 人、女 5 人）と過ごす 4 日間。夕刻から翌朝までの宿生活について書いてみたい。宝物のような濃密な時間は、子どもの成長について考えさせられる思考フル回転の時間であり、自ら作成したアシスタントマニュアルを見直すきっかけともなった。

これは、「キャンプアシスタント（以下、アシスタント）のススメ」です。

アシスタントとは、起床～就寝まで、子ども達の世話するお姉さん役。ともに遊ぶことも、大きな役割のひとつです。親元を離れ、少なからず不安をいだきながらも子どもたちは、目いっぱい楽しもうと一生懸命です。その挑戦が自信につながるようにサポートするのが、アシスタントの役割であり、醍醐味である。



キャンプ日記の時間

「信念にもとづく姿勢」とも言い換えられる“サポート”は、24 時間稼働しっぱなし。たとえば、廊下ではしゃいでいたら？けんかが始まったら？私が決めた姿勢は、「命だけは守る。人に迷惑はかけない。それ以外は、笑顔で見守る」。「子どもは、よりよくなろうと努める力を持っている」という信念に基づくものでした。

夕飯の食事のこと。

2 年生の T くんは、おしゃべりが楽しくてしかたなく、目の前の食事は気になるものの、なかなか箸が進まない。30 分たち、耳を傾ける私や仲間のお皿はだんだんきれいになってくる。こんなとき、「順調に」箸をすすめるのをよしとする意見があるかもしれない。でも、私は何も言わず見ていた。T くんだって食べたいのだ。いつ食べようかタイミングを探りながらの必死なおしゃべりが続く。ごちそうさまの時間を察知した瞬間、黙々とお皿に向かいはじめた。それを笑顔で見守る仲間たち。楽しいおしゃべりありがとう。そんな雰囲気があった。

子どもは“今”を一生懸命に、そして考えながら生きている。

実はこのとき、隣のテーブルで食事をしていた家族がいた。騒がしい私達を、にこにこ見てくれていた。もし、怖い顔で見られていたら、私の「姿勢」は別の形になっていたかもしれない。いろいろな要素が作用する環境こそ、子ども達が「社会」を学ぶよいチャンスだ。

「キャンプアシスタントマニュアル」にこうある。

『キャンプアシスタントは、子ども達に一番近い存在です。子どもひとりひとりがいかに「考え」「自ら動く」かで、個々の達成感や満足感は大きく変わります。“考えたり”、“体を動かす”ことは、スタッフの「言葉がけ」と「ちょっとした手助け」がきっかけになります。やってあげるのではなく、子どもを信頼して、何でも一緒に楽しむ姿勢が大切です。』

“子どもを信頼する”とはどういうことかを実践で学べるアシスタント、オススメです。

未来のキャンプアシスタントたちへ。アシスタントマニュアルを、じっくり読んでほしい。期待される役割と仕事書かれている。それが頭に入ったら、自分なりの「姿勢」をじっくり定めて臨んで欲しい。子ども達と過ごす一分一秒が、自分の宝物になる。



瑞慶覧 明子

これな～んだ！の答え



A

やわらかく煮た大豆をミンサーでつぶしているところ。このあと糀と塩と混ぜてお味噌の熟成がスタートしました。



B

お団子。白玉粉と上新粉を同量ずつこね、ピンクはゆかり、緑は青のりを混ぜこみました。白と合わせ、優しい味の三色団子。



C

リンゴの灰汁。絞ったりんご果汁を加熱すると、表面に浮いてくる。雑味ない透き通った味のジュースは、丁寧な灰汁とりのたまもの。



D

ぎゅうぎゅうづめのおやきたち。地粉をこねた生地のはきは、甘～いかぼちゃと大根。手のひらサイズのおやきなら、蒸し器で蒸すこと 10 分で完成。

+++++会員と読者の交流ステージ+++++
やまぼうし自然学校インタープリター会員 加藤克徳さんからのご便り

◆タランペクラブ ◆

2月10日（日）、今年で4回目の冬のイベント「雪ほたる」が、楽しく行われました。今年は地域の子供たちや住民のほか、IVUSA（国際ボランティア学生協会）47名の応援をいただき、何より学生たちとの交流はたいへん有意義なものとなりました。人と人のコミュニケーションは人を成長させる。人は皆同じでなく皆違う。違う人が力を合わせることは、生きる力を育んでくれることと思います。今回もタランペクラブはたくさんの笑顔をいただきました。タランペクラブの活動は、随時ブログ掲載中です。「タランペ」で検索してご覧ください。



森でモリモリ遊び隊



12月4日 森のクリスマス 思いがけず雪が降り、森のホワイトクリスマスに。
1月20日 雪の森遊び① 今までにない量の雪が積もり、みんなで雪まみれ。
2月17日 雪の森遊び② 寒さに負けずに雪遊び！焼きリンゴもしました。



「モリークリスマス！」お祝いはチョコレートフォンデュ♪



「いくそ！おりゃー！」雪合戦の決定的瞬間！



「こんなに埋まっちゃった！」腰までどっぷり！



みんな一緒に作った雪の基地で、お弁当タイム♪



「きゃーっ！」ビュンビュン滑るソリに大笑い！



「巨大クリスタル発掘！」大きな雪の塊！

フォレストキッズ



12月15日 落ち葉探しにとどまらず、生き物のたくさんの落とし物を発見
1月12日 どんと焼きで無病息災を願ういろいろなものを焼いてたべましたよ
2月23日 雪遊び in 菅平 往復のバスまでハイテンションな子どもたち



アート作品



作品作りに夢中



おもち・ウィンナー・パン・お菓子なんでも焼いてみました



お腹がいっぱいになれば遊びです



思い思いに雪を楽しみました



雪の中にダイビング

東京支部イベントレポート

彩湖 冬鳥観察会&BBQ ランチ (13. 01. 26)

年始から大雪に見舞われた今年の冬は、実は(・・)都心から近い埼玉県戸田市にある彩湖での冬鳥の観察会に BBQ ランチを加えた欲張ったイベントとなりました。



文・会田 和彰

当日は天気恵まれ、荒川の土手を越えると正面に見事な富士山がお出迎え。しっかりと準備体操をして、観察開始。ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミに挨拶をして、荒川独特の横堤を見学。駐車場にあるヤドリギの黄色い実や、ユリノキの集合果を近くに観察する事も出来ました。

周囲 8.5Kmもある広い彩湖畔に出ると、水面を渡る風は冷たい。水鳥達は思ったより少なめでしたが、オオバンやユリカモメが我々を歓迎してくれました。

そろそろお腹も減ってきた頃にお待ちかねの BBQ ランチ。スタッフが大雪の日に試作し、改善を重ねたレシピの「ビーフシチュー・ベイクド野菜添え」がメイン。ダッチオーブンのシチューは冷えた体を芯から温めてくれました。デザートは焼きリンゴや焼きマシュマロ、パーコレーターで淹れた薫り高いコーヒーも、参加者の皆さんには概ね満足いただけたようで、BBQ 担当スタッフ一同胸をなでおろす。



午後は自然学習センターで荒川の歴史や彩湖の役割を学び、屋上テラスからは丹沢から奥武蔵の山並み、遠く上信越の山々の展望を満喫。最後に鑑賞池でカルガモに見送られ、解散となりました。野鳥の出現は多くはありませんでしたが、天気に恵まれた真冬の BBQ ランチは美味しく、ちょっと贅沢な一日を過ごす事が出来ました。

新職員、自己紹介します

●古川 誠 (ふるかわ まこと、27 歳 京都府出身)

ほんの少し前まで、何気なく進んできた人生。それはそれで楽しかったけど、何だか自分の納得がいかない。何かが足りない。

このまま自分は下降線を辿っていくんじゃないかと思っていた時に、「自然学校養成講座」(日本環境教育フォーラム主催)というものがあることを知り、『これだ!』と飛び込んでみました。9 か月間にわたる講座で最も学んだことは、“自ら動けば何かが変わる”ということ。自ら動けば、「成功」とか「失敗」ではなく、自分に納得がいくことを学びました。



イグルーの中で

そうして自ら進んでやってきたやまぼうし自然学校では、「自ら動く!」をキーワードに人が少しでも動き出す小さなきっかけを作っていきたいです!! 何がきっかけになるかなんて、本当に分からない。詩の中のたった一小節かもしれないし、一本の草の芽吹きで人が動き出すこともあります。自分は本の一文を読んでここに辿り着きました。

なにせあらゆる経験が不足中の若輩者です。いろんな方とお話したい! 成長したい! 読んでくださった方とはどこかで会えることがあるはず。お話ししましょう! よろしくお祈りします!

●佐藤 美央 (さとう みお、36 歳 岡山県出身)

仙台生まれ、岡山育ち、移り住んだ家 16 軒、訪れた県 47 都道府県。紆余曲折、自分でもへんてこな人生だとよく思います。

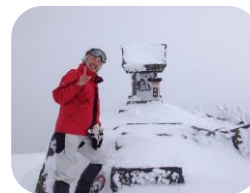
20 代は OL や添乗員をしながら、ずっと自分の居場所を探す日々。添乗で知り合った方に誘われ、30 歳で立山の山小屋に通年勤務。ここで自分の中に何かモヤのようなものがかかっていることに気がきます。人の意見に左右され、顔をうかがって笑っている自分・・・「ああ、もっと自分らしくいてもいいんだ」と、厳しくも優しく、ただそこに鎮座している立山連峰を眺めホッとしたのを覚えています。肩の力が抜け、自分の中のモヤ取り作業が始まりました。山を降りた翌年、色彩心理学を学び、更に翌年ガラス工芸と出会います。

そして 1 年前、腰を落し着けようと戻った岡山。ところが、住み始めたばかりの家が取り壊されることに! 最初は茫然。けれど、焦らず悲観せず、流れに身を任せる事にしました。家探しの中で、「また県外もあんな」と放浪癖がうずうずした頃。たまたま聞いた話、



ダケカンバと

たまたま手渡された雑誌、たまたま最初に開いたページにズケさんの記事が・・・鳥肌がたちました。諏訪に住んだ事があり、添乗でよく信州を訪れていたこと、ガラス工房がたくさんあること、色彩心理学で子供の情操教育に関わったこと。過去の経験がまるでパズルのピースのようにパチパチはまる感覚! やまぼうしに来ない理由がみつかりませんでした。



根子岳の頂

ここにくるまでの出来事には全て意味があり、ご縁とタイミングに導かれての事だと身にしみて感じます。日々の出会いと学びに感謝しつつ、これからもっともっとお腹いっぱい学んでいきたい! 欲張りなみろりん、佐藤美央に皆さんのお話を聞かせてください!!

つなぐ人、つながる人

◆The Sense of Beauty 米花焼 Me 家◆ 小諸市相生町（小諸駅そば） こうじや みけ



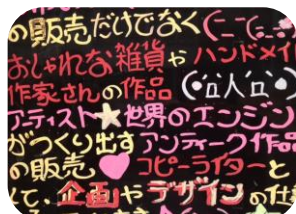
この独特の雰囲気、やみつきになりそうです。
最初に2人に出会ったのは2月17日、小諸の「ほんまち町屋館」でのマルシェでした。そして3月3日、お味噌作りのイベントに来てくれたときに「審美眼」を話す様子に一目ぼれ。3月8日に取材訪問、そのワンダーっぷりをご紹介します！

エンジンさんとカオルさん（中央）

★ハートフル、アートフル★

エンジンさんは、噛むほどにしびれる味がする。コピーライターの顔が1時間かけて生み出す「今日の名言」が迎えてくれる店構え。扉を開ける前から、鼓動がわくわくしはじめる。

劇場の様なディスプレイは、コック（カオルさん）とアーティスト（エンジンさん）の合作だ。20種以上ものレシピがあるというマフィン、日によって並び種類が変わる。個性豊かな顔と形、そのひとつひとつの愛らしいこと！鑑賞してさらに食べられちゃうなんて、まるで夢のような美術館でしょ。



看板がアーティストック！

★楽しむ人に、人が集う★

友だちはひとりもない、と冗談めかすエンジンさん。
「言いたいことは面と向かって話をする。世の中の不平不満をいう前に、やりたいことやってる？って聞いてみたい。」

周りに合わせるのではなく、こうして楽しむのが自分流！と表現する。この日もゆったりコーヒー飲んだり、雑貨のキリンを手取る人の姿。それぞれの楽しみ方を丁寧に包んでくれる安心感が、ここにはある。「Me 家」という名前には、自分の家のような感覚でくつろいで欲しいという思いが込められている。



マフィンが躍る♪ネーミング



★おもてなしの心★

「祖父の時代にお客さんたちが交わっていったいろんな想いの証。」年季あるイスの傷は、歴史の上に新しい時代を築く、二人の応援団。一時は継いだ焼鳥屋を、もっと若い人が立ち寄れる場所にしたい、と今の店に変身させた。小綺麗に飾られるアンティーク調のプレートや格言に、先代を大事に思う気持ちが伝わってくる。「気は長く心は丸く腹立てず、己を小さく人を立てる」。心のこもる説明が、おもてなしの心につながっているように感じた。

★カオルさんと変人さん★

小さいころからお菓子作りが好きだったというカオルさん。「エンジン」の由来、すなわち「変人（henjin）のフランス語読み」に納得顔のカオルさん。センスが光る雑貨や器などに彩られた店内に佇むこの二人こそまさに、「The Sense of Beauty」。なんとも居心地のよい空間だった。

一歩外に出たとたん、また来よう！と思う。「The Sense of Beauty」が詰まってる「米花焼 Me 家」という玉手箱、ぜひ一度覗いてみてはいかがですか？
文&写真・瑞慶覧 明子

2012 年度総会開催しました

2月11日（月）、上田駅前ビルパレオ 2F 会議室にて、定期総会を開催しました。
2012 年度の事業報告・会計報告および 2013 年度の事業計画が決議され、また新たな役員が就任しました。正会員からは、より安全な学校登山への提案や、新年度事業を計画的に進めるための意見をいただき、事務局からは事業推進に向けて会員の全面協力を仰ぎ、閉会となりました。インタープリター会員の方も傍聴され、熱心に審議を見守っていただきました。今後も、お一人でも多くの方に正会員として、自然学校の運営に携わっていただけるよう努めてまいります。

やまぼうし自然学校の事業報告書はホームページからご覧いただけます。

<http://yamaboushi.org/about/annualreport.html>

総会后恒例の「お楽しみ会」では、真田在住の腹話術師「ヒロ・タッキー氏」を招き、腹話術を楽しみました。人を楽しませる」という自然体験活動の大切な要素を腹話術を通して楽しみながら学ぶことができましたのではないかと思います。



職員と会員とで活発な意見交換



絶妙な呼吸に笑い弾ける腹話術

「チャレンジで地域を楽しく！」今年もどしどし活動します！

2013 年度森でモリモリ遊び隊・募集！

とことん、火熾ししたい！寝袋で寝たい！森で遊ぶ！雪遊び！
そんなキミは、菅平高原に集合！

- 小学1年生～6年生、中学生
- 年会費22,000円（指導料、通信、資材、キャンプ費など）
※兄弟参加は2人目から20,000円
- 場所 上田市 菅平高原の森やキャンプ場
- 日程 ①5/19 ②6/22-6/23(春キャンプ) ③7/7
④8/31-9/1(夏キャンプ)
⑤10/6 ⑥11/10 ⑦12/1 ⑧1/19 ⑨2/16 ⑩3/9(全10回)



木の上も下も土も遊び場！

【事前説明会】①、②は同じ内容です／申し込み不要、参加費無料

- ① 4月25日（木）16:00～17:00 会場：上田中央公民館・第4会議室
- ② 4月27日（土）15:30～16:30 会場：菅平高原・自然体験の森

『2012 年度遊び隊』連載中☆<http://blog.yamaboushi.org/>

やまぼうしインプリ発信

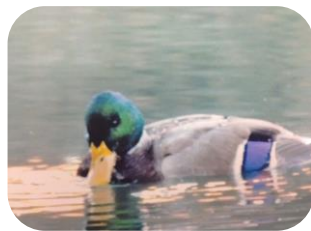
◆進化したマガモ?◆

ガイドで大正池に向かった時に、おもしろい光景を目にしました。1羽のマガモが水面から消えてしまったのです。そうです、完全に潜水したのです。本来マガモは、水深の浅いところでおしりを水面に出し、胴体半分を水中にして植物の新しく伸びた根や軟らか

な部分(藻などの水草)を餌とする草食系であるために、水に潜れないで不器用にお尻を振って捕食する姿は微笑ましく感じるものでした。ところがこのカモは、10秒くらいも水の中に姿を消し、何かを咥えて上ってきたのです。よく見ると、小魚です。それを2,3回噛むような素振りで飲み込んでしまいました。慌ててカメラを取り出し撮影しようとしたのですが、こちらのそんな行動にはお構いなく、その後も10回近く同じ行動を繰り返し3~4匹の小魚を食していました。その後、他のカモ達5,6羽が近づいてくると、狩り?を止め遠ざかって行ってしまいました。潜水した後にどこに浮いてくるのかが分からずにピント合わせが難しく、よい写真が撮れなかったことが残念です。今年は、再度挑戦したいと思います。皆さんも見つけて是非撮影に挑戦してください。



松田 俊雄



【東京支部】森を楽しむ講座スタート!

3/2(土)と3/4(月)の両日、エコギャラリー新宿にて、今年度の講座ガイダンスを開催しました。土曜日は、日本野鳥の会・安西英明氏をお迎えし「東京の野鳥」について特別講演いただきました。野鳥ワールドに引き込まれるユーモアたっぷりで軽快な話術は、悔しいが!安西氏の講演だけを目当てに来場された方もいるほどでした。窓越しの新宿中央公園の樹々に、野鳥の姿が見え隠れする至福のひとつでした。



月曜日は、少人数でこぢんまりと開催しました。

講座メイン講師・丹野雅之氏が新宿中央公園内でミニ観察会と「森林」のお試し講義を行いました。お陰さまで、「森めぐりコース」は定員を超え、満員御礼です。「森林インストラクターチャレンジコース」「やまぼうしインタープリター養成コース」にも意欲溢れる申し込みが相次ぎ、いよいよ月末スタート! 文・石川順子/写真・小田洋介

「森林インストラクターチャレンジコース」は、単日のご参加が可能です。お申込み随時受付けています!
開催日: 3月~11月の毎月1回、土・日開催。
時間: およそ9時~16時 参加費: 各日3,000円
詳細はこちら→http://yamaboushi.org/contents/koza/tk/t_13.html

森の遊び方・伝え方を学び、仲間ができる 『全6回 おとなのための実践講座』

~やまぼうし自然学校 インタープリター養成講座~

『修了後は、指導者として活躍の場、あります。』

◆テーマは、森とインタープリテーション
マッチを擦ったことがない、水は蛇口で作られる、そんな子ども達が増えているといわれます。外で遊ぶ楽しさ、森が持つ力を、子ども達に伝えていく大人が必要です。

◆こんな方に来てほしい
子ども達に森のプログラムを指導したい
子ども達とキャンプを一緒に楽しみたい
地域での活動に、学んだことを生かしたい

参加費
各回 2,000円

お得な一括申し込みは
全回 10,000円



2012年の参加者

“身近な自然に感動するようになりました”
“皆で何かを成し遂げることの面白さを実感できました”
“インタープリテーションを、実践で役立てています”
“色々な年代の方と学べる場が刺激的でした”

開催日: 第一回 4月24(水)あるいは28(日)
やまぼうし自然学校 事務所

②6/30・7/3、③9/15・9/18、④10/5、⑤10/6、⑥11/13・17
(④・⑤以外は、同内容で実施の日曜又は水曜から選択できます)

場所: 菅平高原 やまぼうし自然学校事務所および野外のフィールド

時間: 9時30分~15時

問合: info@yamaboushi.org/電話 0268-74-2735

お申込はインターネットで受付中!

http://yamaboushi.org/contents/koza/ng/n_sche.html